

# 奈良県感染症情報

平成30年第1週(1月1日～1月7日)

奈良県感染症情報センター(奈良県保健研究センター)

<http://www.pref.nara.jp/27874.htm> TEL:0744-47-3183

## インフルエンザ注意報発令です!

### 今週の概要

- 病原体(ウイルス)検出情報(平成29年12月)

### ◆ 定点把握感染症報告状況(定点当たり患者報告数の上位5疾患) ◆

順位	疾患名	奈良県			北部	中部	南部
		定点当たり	(前週)	増減			
1	インフルエンザ	12.57	(12.74)	↑	↑	↑	↑↑
2	感染性胃腸炎	3.62	(5.29)	↓	↓	→	↓
3	RSウイルス感染症	1.47	(1.85)	↓	↓	↓	→
4	A群溶連菌咽頭炎	1.00	(1.74)	↓	↓	↓	→
5	水痘	0.44	(0.59)	↓	↓	↓	↓

発生状況: **大流行** **流行** **やや流行** **少し流行** **散発** (疾患毎に、基準値を定めています。)

増減: 過去5週間平均数と比べたときの変化 **↑↑**急増、**↑**増加、**↗**やや増加、**→**横ばい、**↘**やや減少、**↓**減少

### ◆ 県内概況 ◆

第1週は年始で休診の医療機関が多く、ほとんどの疾患は報告数が減少していますが、インフルエンザの報告は横ばいです。今後、さらに増加すると思われます。保健研究センターでの検査では3種類のウイルスが検出されており、混合して流行しているようです。一度感染しても、種類が違えば再感染するため、何度も発症します。学校保健安全法でインフルエンザは、「発症した後(発熱の翌日を1日目として)5日を経過し、かつ、解熱した後2日(幼児は3日)を経過するまで」は、出席停止期間とされています。抗ウイルス薬により、すぐに軽快しても感染性は残っており、この時期に外出すると感染を広げることになります。

### ◆ 病原体(ウイルス)検出情報(平成29年12月) ◆

\*ウイルス分離同日での集計結果

検出病原体	北部	中部	南部	その他	臨床診断名
インフルエンザ AH1pdm09	1	1			インフルエンザ(2)
インフルエンザ AH3	1		2		インフルエンザ(3)
インフルエンザ B (山形系統)	1				インフルエンザ(1)
アデノ 1		1			気管支炎(1)
RS		2			RSウイルス感染症(1)*、気管支肺炎(1) **
エコー 6	3	3	2		無菌性髄膜炎(1)、急性膵炎(2)、RSウイルス感染症(1)*、細気管支炎(1)、気管支肺炎(1)**、発疹症(2)
エンテロ 71		2		1	無菌性髄膜炎(1)、手足口病(2)
コクサッキーB群 2		1			感染性胃腸炎(1)
ライノ		7	1		感染性胃腸炎(3)、気管支肺炎(1)、気管支炎(1)、発疹症・気管支炎(1)、RSウイルス感染症(1)、インフルエンザ様疾患(1)
ノロ GII.4		2			感染性胃腸炎(2)
パルボ B19				2	遺伝性球状赤血球症・溶血発作(2)

\*、\*\*重複感染

❖ 定点把握感染症報告状況 ❖

平成 30 年 第 1 週 1 月 1 日 ~ 7 日

保健所別報告数	奈良県		北部		中部		南部	
	奈良市	郡山	中和(東)	中和(西)	内吉野	吉野		
インフルエンザ定点数	54	14	11	10	2	3		
インフルエンザ	679 (12.57)	115 (8.21)	199 (14.21)	109 (9.91)	181 (18.10)	12 (6.00)	63 (21.00)	
小児科定点数	34	9	9	7	6	1	2	
RSウイルス感染症	50 (1.47)	3 (0.33)	10 (1.11)	8 (1.14)	26 (4.33)		3 (1.50)	
咽頭結膜熱	4 (0.12)		2 (0.22)	1 (0.14)	1 (0.17)			
A群溶連菌咽頭炎	34 (1.00)		9 (1.00)	2 (0.29)	19 (3.17)		4 (2.00)	
感染性胃腸炎	123 (3.62)	11 (1.22)	31 (3.44)	12 (1.71)	69 (11.50)			
水痘	15 (0.44)	2 (0.22)	10 (1.11)		3 (0.50)			
手足口病	2 (0.06)				2 (0.33)			
伝染性紅斑								
突発性発しん	7 (0.21)	2 (0.22)	1 (0.11)	1 (0.14)	2 (0.33)		1 (0.50)	
(百日咳は全数把握対象疾患となりました)								
ヘルパンギーナ	1 (0.03)				1 (0.17)			
流行性耳下腺炎	3 (0.09)			1 (0.14)	1 (0.17)		1 (0.50)	
眼科定点数	10	3	3	2	2	0	0	
急性出血性結膜炎								
流行性角結膜炎	1 (0.10)			1 (0.50)				
基幹定点数	6	1	2	1	1	0	1	
細菌性髄膜炎								
無菌性髄膜炎	1 (0.17)			1 (1.00)				
マイコプラズマ肺炎	1 (0.17)		1 (0.50)					
クラミジア肺炎								
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	1 (0.17)		1 (0.50)					

❖ 全数把握感染症報告状況 ❖ ( )は保健所別内訳

1類感染症	
2類感染症	結核3件(奈良市2、郡山1)
3類感染症	
4類感染症	レジオネラ症1件(郡山1)
5類感染症	

❖ 第 週 のトピックス ❖

・IDWR 2017年第45号<注目すべき感染症> インフルエンザ

<https://www.niid.go.jp/niid/ja/flu-m/flutoppage/591-idsc/idwr-topic/7698-idwrc-1745.html>

※平成27年2月16日より桜井保健所と葛城保健所は統合され中和保健所となりました。旧桜井保健所分は中和(東)、旧葛城保健所分は中和(西)として集計しています。

上段 : 報告数  
(下段) : 定点当たり報告数 報告数÷定点数

年齢別報告数

年齢区分	年齢	0-5M	6-11M	1歳	2	3	4	5	6	7	8	9	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-79	80-	合計	累計	
インフルエンザ	男	1	4	17	13	13	20	25	25	13	9	13	29	20	21	18	27	20	15	10	8	321	321	
	女	1	4	15	11	21	22	19	18	17	23	7	38	13	22	25	36	28	19	11	8	358	358	
RSウイルス感染症	男	1	6	11	2	2	1						1									24	24	
	女	4	2	10	5	3	2															26	26	
咽頭結膜熱	男			2																		2	2	
	女			1									1									2	2	
A群溶連菌咽頭炎	男			1		2	1	2	2	1	1		3	1	1							15	15	
	女			1	1		4	3	1	1	1	1	4	1	1							19	19	
感染性胃腸炎	男	2	4	14	8	5	6	7	2	1		2	5	1	6							63	63	
	女	1	7	12	11	5	1	3		4		1	5	1	9							60	60	
水痘	男		1				1			2	2		1									7	7	
	女			2		1		2	1	1			1									8	8	
手足口病	男							1														1	1	
	女								1													1	1	
伝染性紅斑	男																							
	女																							
突発性発しん	男			1	3																	4	4	
	女			1	1		1															3	3	
(百日咳は全数把握対象疾患となりました)																								
ヘルパンギーナ	男				1																	1	1	
	女						1															1	1	
流行性耳下腺炎	男								1	1												2	2	
	女																							
急性出血性結膜炎	男																							
	女																							
流行性角結膜炎	男																1					1	1	
	女																							
細菌性髄膜炎	男																							
	女																							
無菌性髄膜炎	男																					1	1	
	女																							
マイコプラズマ肺炎	男				1																	1	1	
	女																							
クラミジア肺炎	男																							
	女																							
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	男			1																		1	1	
	女																							

❖ 注目疾患の動向 ❖ 全て定点当たり報告数

— H30 —▲ H29 —□ H28 — 過去10年平均

